

令和6年度 厚木市障害者協議会 第2回就労支援プロジェクト会議録

日 時	令和6年7月4日(木)14 時～16 時
場 所	アミューあつぎ ルーム 610
出 席 者	障害者就業・生活支援センターぼむ、相州メンタルクリニック、クロスオーバー、 ウェルビー本厚木駅前センター、Cocorport 本厚木駅前 Office、 manaby 本厚木駅前事業所、県央地域若者サポートステーション、サンテ、 トライフィールドわーくあーつ 【事務局】 市障がい福祉課、市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと

1. 今年度の予定について

○前回の会議で年間スケジュールがあったほうが良いと言う意見が出たので作成。スケジュール的に余裕がある訳ではないが、12 月に一度やってみようと思い、作った。毎年行っているふれあいシンポジウムの兼ね合いもあるが、どうか。(ゆいはあと)

→ 12 月開催でも特に問題ない。

○8月、9月で、各事業所で参加者の選定を行なってもらいたい。10月にその参加者も出席してもらい、プロジェクトが開催できたらと思っている。

スケジュール表で何か意見等あるか。(ゆいはあと)

→ 特になし。

○12 月の本番の時は、参加者は当事者のか。企業は。

→ 企業も入ってもらってもいいと思うが、選定はこれからなので、今日の会議で協力いただけそうな企業情報があれば教えてほしい。

2. プロジェクトの協力者の諸条件、障がい種別、参加人数について

○参加者はどんな方が良いか、障がい種別で分けた方がいいか。(ゆいはあと)

→ 発達障害の人は入れてほしい。発達障害のご家族の心配事の実情として、事業所は 20 歳以上の方の家族に対しても相談を行なっている。発達障害の受容が両親にもなく、うつをキッカケに発達になったとか、いろいろ言われ、「こんなんじゃ就職大丈夫か」と思ってしまう。通信系高校などでも教師の理解がない、「就労移行に行ってみれば」と言う感じで丸投げ状態。お母さんが泣きながらいらっしゃる。「うちは使わなくても良いから、親御さんがどんと構えて受け止めてあげて下さいね」と伝えている。ヨーロッパや東京大学、京都大学、IT企業やベンチャーを立ち上げている方の 7 割は発達障害と言う話をしても、ご父兄の方々は納得出来ない。または親御さんも発達障害だと。就労移行利用者も、移行の段階でない人もいる。朝起れない、午後からしか来られないと言う方が主。その様な方も認知していただけるプロジェクトにしてもらいたい。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ もちろん、そういう方の声を集めると言うのも、このプロジェクトの目的。そのような方も含めてぜひ参加してもらおうとか、どんな人達に参加してもらったらよいか等、話し合えたら良いと思う。就職している人達の声だけを集めるのか、それとも一歩踏み出せない人達も含めて参加してもらおうのか、みんなで話し合えたらと思う。(ゆいはあと)

→ 討論会が良いと思う。不安に思っている方とか、相州メンタルクリニックのデイケアで行っている就活トークを、manaby本厚木に来てもらって話をしてくれたら、私たちが話をするよりも、もっと円滑に活発に話が出て来ることや飲み込めることが多いと思った。分科会みたいな、就職前段階はどんな感じ、面接段階はと分けて利用している方と、卒業した方が話をして…そして私が目標としていることは卒業生のガス抜きのためでもありたい。少しずつ刷り込んでいきたいと思っている。就職が決まったから終わりではなく、また形が違って私たちから離れていく方への支援と言うのを、みんなと一緒にできればと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ プロジェクトのイメージが、まだ全員同じではないと思う。どんなイメージでやるのか、先に決定するのか、みんなに聞きながら決定していくのか。どちらかの流れを決めて行った方がいいと思う。同じイメージを持たないと参加者の選定もバラバラになってしまう。就職している人達なのか、周りに観客を入れるのか、細かなイメージを決めていくのは、今日は必要かなと思っている。

当事者の声を企業に届けるのは、それをどう形にしていくのか、こういう部屋の中でやるのか、さっきあったように分科会のような形にして各段階の人達が語り合うのか、誰かに見せるのではなく、語り合う場にするのか。(相州メンタルクリニック)

→ 私はこの部屋に集まってもらい、就活トークのように当事者同士が話し合う、語り合うイメージはある。その中でテーマ等を決めることは必要かなと思う。(ゆいはあと)

→ 感想を先に言ってしまうが、相州メンタルクリニックでの就活トークで、あそこまで自分の状況を客観的に話すことができるので、その話を企業の人とかへ当事者の声として聴いてもらいたいと思った。

この就労プロジェクトのイメージが湧かず、誰が対象で、企業の人もという中で、選定も含めてこの日程の中に入れた方が良く思う。その中で、企業の方も含め当事者の声、企業の方の声に焦点を当てていけると、スケジュール通りには行くのは難しいかなと思う。ここでもう一度確認をした方がいい。(県央地域若者サポートステーション)

→ やはり、最初のイメージは、企業に就職している方、今現在働いている方、少し外れるとしたら以前企業で勤務していた方。障がいやなかなか理解されなくて退職に至ってしまった方。そう言う方たちが中心に集まってもらいたいと思っている。基本的には企業に勤務をしている方に来ていただいて、合理的配慮での悩み、なかなか自分のことを理解してもらえず、悩んでいる人達にも参加してもらい、討論会みたいなことができればいいかなと思う。(ゆいはあと)

→ ゴール等は設定されているのか、企業の方へ当事者の声を届けてミスマッチを無くしたいのか、当事者の方が困っていることをお互いに把握して解決しやすい土壌を地域に作っていくのか、その辺がはっきりしていると企業の方も参加しやすいと思う。企業の方も呼んでお互い知らないことだらけから始めるため、主訴の分部を突き詰めると、みんなが同じ方向を見やすいかなと思う。(Cocorport 本厚木駅前 Office)

→ 初めは企業の方たちを呼ぶと言う発想は持っていなかった。働いている当事者が集まり、困っていることを話してもらい、それをまとめたものを企業へ発信できたらと思っていた。しかし、企業も入ってもらうことで、どちらかの視点に偏らないものになるため、入ってもらう方向性になったと思う。合理的配慮に対してお互い分かっているような、分からないようなものになっているのではないかと、お互いが分かり合える土壌を作っていきたいと思う。(ゆいはあと)

→ いいと思う。以前支援していた方で、面接で話していけないことを覚え込んで話していたが、気持ちが入っていない。分からないことを分からないと言うのが恥ずかしいのではなく、分からないことを分かったと言うの方が恥ずかしいと言うことをわかって欲しい。「質問してね」と言われて、どれだけの人ができるか。パネラーがいて隔たりがある中でフォローできる状況にしたい。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 参加者の選定は「話す人」の選定で間違いないか。プラス、オープンで入ってもらうてよいか。それともその場自体が選定するか、応募制にするのか。行政的にはオープンの方が良い機会になると考えていた。

先日の就活トークで、こんな場があってもいいなと言う意見もあったので、定例的にオープンで話せる場があったほうが良いと思う。(市障がい福祉課)

→ その話をする人以外にも参加する、出来ると言う感じか(ゆいはあと)

→ そこでの話を聞き、これから頑張ろうと思う人もいると思う。(市障がい福祉課)

→ ギャラリーがいるかいらないかでだいぶ違う。(相州メンタルクリニック)

○ギャラリーがいた方が話しやすいか、盛り上がるか。(ゆいはあと)

→ いない方が話しやすいし、いた方が取り繕う。ただ色々な人に知ってほしいと言うことであれば、ギャラリーがいた方が効果は大きいと思う。(相州メンタルクリニック)

→ 移行を利用している方、移行を通して就職した方という枠であれば、同じ就労福祉サービスを使った立場で話しやすさというものが出てくるのでは。(市障がい福祉課)

○実際に話す人は企業へ勤務をしている方を中心と考えているが、ギャラリーも入れるか。(ゆいはあと)

→ 今回は当事者のみで実施し、次回以降に企業を入れていく方法もある。いきなり完成形でやると失敗する可能性もあるので、まず「話す場」としてやるのもいいと思う。その成果として動画や冊子として企業に示していく方法もある。いきなり完成形でやらなくてもいいと思う。この先は企業の方に入ってもらいたい。(市障がい福祉課)

→ 今の企業の問題として、半年先、1 年先の問題は変わってくると思う。そのひとつが法定雇用率だと思っている。それに対応できるのか…企業のニーズがどこにあるのかにも関係してくると思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

○どんな形がいいか。(ゆいはあと)

→ どんな形にもできると思う。どんな形にしたいのか、ぶれてはいけないのは、企業の方と当事者の方たちが分かりあえるものを見つけること。(相州メンタルクリニック)

→ はじめは当事者のみで、ギャラリーも入れる形でやることとする。(ゆいはあと)

→ 同じ方向へ行くためのイメージをしてもらえれば、みなさん同じイメージで進めていけると思う(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 当事者の方たちの熱量もわからないので、一度集まってもらい語り合ってもらう方が良いかも。企業も入ることを伝えたら、「そこまでは…」と萎縮する可能性もある。(Cocorport 本厚木駅前 Office)

→ 一度当事者の方だけで行ない、それを私たちが企業に繋いだ方がいいと思う。企業もいきなり入っても戸惑ってしまう可能性もある。(ウェルビー本厚木駅前センター)

→ 企業に説明した場合は、まず冊子等の方が参加者の特性なども説明しやすい。(Cocorport 本厚木駅前 Office)

→ 今後どこへ声をかけたらいいかも考えながら作って行く必要はある。事務系なのか、作業系なのか、事業所と協力、共有し関係を持っていくことが大切だと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 初めは、当事者のみの参加とギャラリーも入れる形でやってみることとする。2回目、3回目は企業も入ってもらえる形で進めていく。(ゆいはあと)

○全体の人数はどのくらいか。(ゆいはあと)

→ 開催は平日か。4月入社ならこの時期には有給が発生しているが、みんな入社日が違うので難しいのでは？(manaby 本厚木駅前事業所)

→ この日のためにあえて自分の有休を使って来てくれる人がいるのか。(ウェルビー本厚木駅前センター)

→ 土日開催でもいいのでは。(市障がい福祉課)

→ それとも平日の夜で、経験をしたことのない感じで開催してみてもいいと思う。もしそれが楽しかったら、色々な励みになる場合もあるし、後悔する場合もあるかもしれないが、そんな会合的なものにしてもいいと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

○土日か平日の夜開催か(ゆいはあと)

→ いずれにしても、どのくらいの時間で行なうかにもよると思う。(Cocorport 本厚木駅前 Office)

→ 休憩を入れて、長くても 90 分くらいではないか(ゆいはあと)

- 時間のスパンにもよるが、あまり大勢が参加をしても話せなくなってしまうので、初めは数人程度の方がいいと思う。土日開催か、平日夜開催かによって声のかけ方も違って来ると思う。(Cocorport 本厚木駅前 Office)
- 当事者の声として届けるのであれば、参加人数は10名前後と思っている。(ゆいはあと)
- 10人前後で行なうのであれば、2～3回に分けて行う方が現実的かなと思う。1人10分話すとしても2時間はかかってしまう。(Cocorport 本厚木駅前 Office)
- 事業所からどのくらいの規模で、紹介していただけるのかにもよる。障がい・特性別に2部制にするのもひとつの方法だと思う。人数と当事者の特性や特徴が分かると選びやすいのかもしれない。(市障がい福祉課)
- まずは各事業所で当事者への打診が必要。(Cocorport 本厚木駅前 Office)
- 平日の夜と、土日開催のどちらを選ぶか、また障がい・特性でまとめた方が話しやすいと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)
- スケジュール案では、8月、9月での選定となっている。このスケジュールどおりに、各事業所であらかじめ募ってもらい、10月に会議を行なう流れで御協力願いたい。それを踏まえて開催時間を決めてもいいと思う。土日でも問題ない。(市障がい福祉課)
- 当初は、移行事業所に2～3名の候補者を出していただき、ゆいはあとにも1～2名参加していただきたい方がいるので、10名ほどになる。1時間～1時間半で足りると思うが、平日夜の案も出たが、仕事で疲れている状態なのでどうなのか、土日開催もいいかと思う。(ゆいはあと)
- 土日の開催でもとくに問題はないと思う。(ゆいはあと)
- 平日でも、やるとしたら18時くらいからが良いのか。(ゆいはあと)
- 平日か土日開催か選べるのなら、問題ないのではないか(相州メンタルクリニック)
- 当事者の方に確認をしてみてもいいのでは。(市障がい福祉課)
- 声をかけた方に、平日か土日開催がいいか確認し、次回のプロジェクト時に教えていただきたい(ゆいはあと)
- 開催希望票を作成するので、それをプロジェクト前に集計し、個人名を消したものを提示する。(市障がい福祉課)
- イニシャル記載でもいいか。(Cocorport 本厚木駅前 Office)
- 問題ない。(市障がい福祉課)

→ メールで頂けると助かる。(相州メンタルクリニック)

→ その票をもとに次回のプロジェクトで開催日時等の確認が出来ればと思う。自らそのような場に来たいという方を把握しておいた方がいいと思う。2名限定ではなく、興味や意欲のある人は来てもらいたいので、2名限定は気にせず把握していただきたい。(市障がい福祉課)

→ 土日で出たい方もいれば、金曜日の夜であれば出てもいいと言う方がいるかもしれない。土日に2名、平日の夜に2名いてもそれでもいいのか。(ウエルビー本厚木駅前センター)

→ 土日に2名で、金曜日に3名とかであれば調整が必要になるかもしれないが、それも含めての調査となる。(市障がい福祉課)

→ 企業で働いている方オンリーで行くのか(相州メンタルクリニック)

→ そう、それでギャラリーにも入ってもらう形で行ないたい。(ゆいはあと)

→ 働いている方の勤続年数や期間などは決めた方がいいか。(Cocorport 本厚木駅前Office)

→ 特に決めず、その様な場所で話したい方であればいいと思う。会社の愚痴を言う所にはしたくない。(ゆいはあと)

→ ギャラリーからの質問は受けるか。(市障がい福祉課)

→ それは問題ないと思う。(ゆいはあと)

→ それでは質疑も含めて1時間くらいか。(市障がい福祉課)

→ 逆に、ギャラリーの方が質問しやすいと思う(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 参加者は、ギャラリーで見ている方に勇気を与えられる人の方が好ましいかなと思う。(市障がい福祉課)

→ 参加者の障がい種別はどうするか。(ゆいはあと)

→ 調査票を出してからでいいのではないか。最少人数や最大人数として、どのくらいが好ましいか。(市障がい福祉課)

→ 少なくとも、多くても出来ると思うが、全員に話してもらうのであれば、1時間で10名は多いと思う。(相州メンタルクリニック)

- 一人ずつ話してもらい、そこで“ワイワイ”と言う様な形になれば、逆に今回はそれでいいと思う。それを一人で全てつかみきれないと言う不安はある。(manaby 本厚木駅前事業所)
- 就労プロジェクトで、テーマをいくつか決めて、それに合わせて話すことも考えている。(ゆいはあと)
- どこでやるかでも違ってくると思う。(manaby 本厚木駅前事業所)
- 会場が取れるか…12月だと抽選前なので余裕がある。優先で抑えておくことも可能。(市障がい福祉課)
- 就活トークではないが、企業が行っている座談会もある。テーマがあってもなかなか話せない。いかに全員に話してもらおうか考えていて、初めは個人ワークとして「企業に尋ねてみたいこと」として、自分が何を聞きたいのか発表をしたあとに、フリートークに入っていく。事前の工夫は必要かなと思う。(相州メンタルクリニック)
- 当日は司会を付けた方がいいか、このプロジェクトメンバーから選び、進行をお願いしたい。就労シンポジウムのパネルディスカッションでは相州メンタルクリニックさんをお願いした。(ゆいはあと)
- 誰もいなければ引受ける。(相州メンタルクリニック)
- テーマを絞れば話せない人もいるか(市障がい福祉課)
- テーマがあっても、無くても、とにかくみんなが語ることが大事。話しやすい環境を作るのにワークがあったら有効だった。ひと言でも、一文でもいい。就活トークの時は、参加動機として一人ずつ語ってもらう形で行ない、皆さんにひと言話してもらう。話しやすい環境が必要かと思う。だんまりになったとしてもこちらがコントロールしない方がいいと思うし、個人的には好きではない。(相州メンタルクリニック)
- 役割分担はまた次のプロジェクトで決めたい。各事業所で参加者の募集を行なっていただきたい。(ゆいはあと)
- サンテの場合、施設外就労先に就職した方をお願いするが大丈夫か。(サンテ)
- 全く問題ない。(ゆいはあと)
- 聴覚障がいの方がいるが、身体障がいの方の参加は今回どうか。(サンテ)
- その方のコミュニケーションの方法は何か。もし手話だったらお役に立てる。(manaby 本厚木駅前事業所)
- 手話。検査の仕事なので聴覚はあまり関係ない。

→ 聴覚障がいの方は、休憩時間の孤独化が原因で辞めていく方もいる。仕事については筆談してくれるが、自分個人での話ができないので淋しい。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 休憩なしでとあるが、参加者の障がい種別等はどうするか。参加は次回にしてもらい、今回は知的障がいの方や発達障がいの方をメインにするのであれば他の方にしたいと思う。(サンテ)

→ 聞こえない人にどうやって伝えるか、ホワイトボードに書いて見せるなど、そう言うことも必要。要はコミュニケーション方法が分からない、空書がある、筆談がある、手話がある、通訳がいる時は手話だけど、いない時はこのように書けばいいなど、それが分かることが大切だと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ その方の判断に委ねることとする。発達障がいや精神障がいの方の参加が多いと言うことを伝えてみて…(ゆいはあと)

→ 了解。まだ伝えてもいないし、声を掛けてもいないので。(サンテ)

→ その方に、「この方が発達で、この方が知的で」と伝えても分からないと思う。要は興味があるかどうかだと思う。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 伝えてみて、その方がぜひ参加したいのであれば問題ないと思う。(ゆいはあと)

→ そういう話ができる場にもなるので、調査票の中で障がい種別も書いていただき、そこで二分できるのであれば、そのやり方もいい。(市障がい福祉課)

→ 議題2は以上で終わりとする。(ゆいはあと)

3. 就活トーク(相州メンタルクリニック)を見学してみte

○ 5月、6月で相州メンタルクリニックデイケアで行なっている就活トークの見学をさせていただいた。皆さんにプロジェクトのイメージもってもらうキッカケになってほしいと思い、参加していただいた。僕は2回とも参加したが、2回目の最後に当事者の方から「就職して働いている人達が語りあえる場所が欲しいな」とあり、そういうものも今後作っていったらと思っている。参加した感想を皆さんへ聞きたいと思う。(ゆいはあと)

→ 目的がみんなですり合わせできていると感じた。私たちもコッポートで座談会を行なっているが、そこでの刷り込みがどれだけでできているかで、お互い考えている意味が深くなるのかとおもう。ヒーローを作るのが最初の目的と言っていたが、参加者の皆さんも意識してうえで参加されていると感じた。

本日出席できなかった支援員の感想も同じようで、ヒーローを作ると言うことに感銘を受けたとのこと。次回座談会を行なっていく時に参考にしたい。(Cocorport 本厚木駅前 Office)

→ 就職した方が集まって話す場が、サポートステーションにはないので、相談者と相談員の関係で、就職して、そのあと定着支援で相談に来る程度だが、個々の関わりで相談を受けつつ介入することや、他の機関を利用し相談している。皆さん就職するための自分の課題を整理しているのでびっくりした。企業の人にも聞いてもらい、お互いどのような課題があるのか知り合えたら良いと思った。(県央地域若者サポートステーション)

→ しっかりと自分の力を持っていることを分かっている方や、色々な知識を集めたい方、等身大の自分を話してくれた方など、それぞれがそれぞれの立場で話ができているのがすごく良かったと思う。男性の方がナイーブで、女性の方が根性座っているように感じた。それでもそれぞれが自分の思うことが言えていて良かったと思った。発信者の話を最後まで聞いて、ルールをしっかりと理解して参加をしていると思った。良い刺激になった。(manaby 本厚木駅前事業所)

→ 目的として話すことで誰かの心を動かす、一般就労中の方もこのような話す場があると良いと思う。プラス企業の方にも知ってほしい。このような場を通して色々なことができると思った。目的をしっかりしないと行っていくのは難しいと思った。

プロジェクトは第1回目なので、今回は就労中の方の話す場として、今後は就労中の方に話が聞けると言う形でもできるのではないかなと思う。第1回目なので有意義なものにしていきたい。その様な場があると当事者の方にはいいと思うので、オープンで行い、色々な運用ができればいいと思う。まずは見学したものを参考に第1回目を行なっていきたい。(市障がい福祉課)

→ 凄く刺激になった。就労プロジェクトの参加自体が初めてだったので、分からない部分も多かったが、トークに参加されている方は、客観的に物ごとを見られ、発言をしていたので感銘を受けた。語り合える場がなかなかなく、そう言う場を設けてほしいと言う声に、行政としてできることから、今後作っていききたいと思う。(市障がい福祉課)

→ 2回参加させていただいた。見学と言うかたちで、10名近く外部の人がいた中で普段通りの形で参加していただいて嬉しかったし、色々な話が聞けて良かった。

2回目に参加した時、「話したいテーマがあったら言ってください」と振ってくれたので、就労支援プロジェクトで取り上げる合理的配慮について皆さんどのように思っているのかを聞いてみると、結構活発に思っていることや感じていることを話してくれたので、盛り上がったのではないかなと感じた。話さなかった方も、色々と感じたり、自分が変りたい、変えたいと思いながら話を聞いてくれていたのかもしれないと思った。(ゆいはあと)

→ 配慮して欲しいが、可能性も信じてほしい。「それに尽きるよね」それをするためにどうすれば良いのか、それを重く受けとめた感じはある。また、伝えることが苦手な人の声も拾ってほしい。そこが上手くいかなくてごちゃごちゃになってしまう人もいると思う。また障がい者が1人で採用されると孤立すると言うことで、1人でのいるのは嫌いではないけど、孤立した時の手立てがないなど、当事者の話としてそのようなことを話しても大丈夫な環境であることが大切。また暴走した時に止めてくれる人が必要。孤立とセットで語られるが、あのような場で当事者同士の語りの中で自分も「そうそう」と言えるようなグループ形成ができているように見えた。(クロスオーバー大和)

→ 参加されていた方皆さんキラキラしていた。自分が話したいこと、話せる場があると言うことは凄くいいのだらうと思った。就職している方、これから就職する方、様々な方が一緒にその場にいられるのがいいなと思った。自分はまだその段階でないからこの場にいないのが嫌だな、いるべきでないかなという方がおらず、そういう方の話を聞きながら、自分はこうしたらいいかな、こうなりたいなと、思える場所だと感じた。(ウェルビー本厚木駅前センター)

→ サンテではみんなで話をするという時間が無いので設けていない。事業所の利用者さんがここまで話ができるかなと考えながら参加させてもらった。初対面の私たちがいる中で話ができるなあとと思った。でもしっかり話をして伝えることもできているし、また聞くこともできていた。批判する人もおらず、受け止めてあげているので、あのスタイルがとてもいいと思った。発信する時に否定から入られると「絶対もうしゃべらない」となるが、あの場でみんなが受けとめてくれた。「私間違ったことしたけど大丈夫だな」というような自分の中の良いイメージを持って、次に進めるのではないかと思った。(サンテ)

→ 相州メンタルクリニックの担当者がみんなの気持ちを掴んでいるのだと思った。否定しない、肯定する雰囲気一年目、二年目と積み上げてきたのだと思った。素晴らしいと感じた。(県央地域若者サポートステーション)

○就活トークで失敗したなと思うことはあったのか(ゆいはあと)

→ 失敗を失敗と思うかによる。失敗を次につなげられるか、情報を持っているだけでいいものは少ない。情報は使ってなんぼだよ。使える人間になれと言うことは話している。当然情報を使って失敗したこともあったし、上手くいったこともあったし、批判されてヘコンデしまって、言えなくなった方もいた。そのあたりを本人と話したり、みんなで話したりした。みんながいるから変わっていける。自分が変えると言うよりも、グループの力で変わってくる。でもグループの力を意識するのは難しい。

失敗と言ったら批判的なこともあったしヘコンデしまい、話を奪ってしまうこともあった。今回みなさんが来てくれたから、「自分たちに関心が向けられているんだ」という思いと、伝えたい、語りたい、その場にいたいという思いが働いていたと思う。あのグループの後ろで見ていた方たちも含めてあったと思う。僕は「可能性を信じてほしい」「孤立してしまう」など聞いたことがなかった。あの場だったから、みなさんに対してだから伝えなかったのだと思った。(相州メンタルクリニック)

→ ありがとうございます。(ゆいはあと)

4. その他

特になし(研修会等にインフォメーション有り)

以 上。